

# インフル対策 消毒液の需要急増



三谷バルブは容器に組み込むポンプの生産が急増している(同社製品イメージ)

花王など大手日用品メーカーでは現時点で容器が不足する事態にはなっていない。「夏場から容器メーカーなどとやり取りして自社の調達分を確保、需要増を見込み手を打ってきた(花王)」。容器不足の影響が出ているのは主に除菌・消毒分野で新参の中小薬剤メーカーだ。

## 薬剤各社は調達に苦慮

化学工業薬品製造の大坂 一般消費者向けの供給を減らして、大型容器に入れる業  
油脂工業(兵庫県尼崎市)は  
人体に無害な次亜塩素酸分  
子の除菌剤を開発し9月に  
務用の出荷を優先する。  
ファーマ研究所(神戸市)  
は自然の土壌  
から抽出した  
エキスが主成  
分を除菌剤の販売地域を東  
北地方の一部に限定。「除  
菌剤の生産能力は1ヵ月10  
年(小島成介社長)。今後は  
万々15万本だが、スプレー

### 出荷計画に支障も

容器が同4万本しか確保で  
きない(益田義弘会長)  
として  
インフル特需を狙った新  
製品投入が多いのは薬剤だ  
けではない。鹿児島大学発  
ベンチャーのスティックス  
バイオテック(鹿児島市、  
隅田泰生社長)はウイルス  
を高感度で検知する診断法  
を開発。空気清浄機製造の  
三協エアテック(大阪市、  
加来裕生社長)もウイルス  
の増殖を抑制する業務用加  
湿器を9月に発売した。  
全国で発症例が広がるな  
かで製品やサービスがヒッ  
トすれば、需要増に比べら  
れる生産・販売体制の構築  
も不可欠。「売れるのに売  
れない」事態を避けるため、  
工夫が必要になる。